

似顔絵・ポスター展示



10分ほどで仕上がる似顔絵コーナーは人気スポット



サレジオ高専学生の制作によるポスター展示

笑顔の写真展



市民が応募した写真(47点)の展示コーナーに訪れた人は「いいねシール」を貼って採点、犬の「笑顔」がベストワン



留学生お国自慢スピーチ



7名の留学生による日本語での熱いお国自慢スピーチ

八王子の国際交流ボランティア団体紹介

HIFC、八王子にほんごの会、日中友好語学学習会、エンドウスタジオ、CCS、八王子高等学校がブースを出し、ボランティアに興味を持っている人たちに活動内容を紹介しました。



青年海外協力隊体験談講演

講師：前川 健一氏
テーマ：「海とゴミとミクロネシア生活」

JICA地球ひろば展示



「JICAの国際協力について」「青年海外協力隊・ミクロネシア・環境教育の活動記録」の展示

マーチエ



フェアトレードカフェ「マーチエ」でコーヒーブレイク、笑顔に誘われてショッピング

八王子市友好都市写真展



泰安市(中国)、高雄市(台湾)、始興市(韓国)の写真展示と映像の紹介

いつもながらのJICAの方のお話は真に迫り素晴らしいものでした。

「蓮の絵」展

八王子市の児童が描いた、始興市との友好の気持ちを込めた蓮の絵展は、今回初めての企画で、多くの人が鑑賞しました。



特別企画



世界の人とふれあいタイム 「過去50カ国の思い出」

「国際交流フェスティバル2013」の特別企画として「50ヶ国の思い出」“体験してみませんか 異色の多文化交流!!”を実施しました。企画は3ヶ月前からスタートし、チラシのデザインをされたテイヨさん、映像編集をされたスハルノさんと委員と共同で準備を進めてきました。

当日はボランティアの学生やビデオ、写真撮影に係った方など多くの方の協力もあり、とても素晴らしいイベントになりました。

プログラム1番は、インドネシア、チラチャップ出身のアグス スハルノさんです。過去50カ国を空から旅をするように、グーグルアースで案内しました。



八王子から出発し途中、データの重みで画像なしの空白があったにも拘らず、ナレーターと委員とのすばらしいコラボレーションで無事、日本に戻ってきました。



世界の子どもにポリオ・ワクチンを!

今年は、40,400個のキャップが集まり、ワクチン51人分相当になりました。

平成20年以来、累計166人分のワクチンを「世界の子どもにワクチンをエコキャップ日本委員会」を通じて送っています。

2番は、韓国、釜山出身のハヨンヒさんです。この日のためにわざわざしつらえた、すてきなチマチョゴリを装い、お子さんも愛らしい民族衣装で登場です。日本の双六に似た、韓国の正月のあそび「ユンノリ」(木製の棒4本を使う)を説明し、映像で伝統的な民族衣装も紹介しました。

3番は、フィンランド、ヘルシンキ出身のカアキネン ティヨさんです。ライ麦を天然酵母で発酵させてつくる、伝統的なパンづくりを映像で紹介しました。ティヨさんが前日に焼いたパンを持参し、試食した来場者からは「香ばしく美味しい」との感想の声があり、とてもよい雰囲気での交流になりました。

4番は、アルジェリア、アルジェ出身の鈴木サリマさんです。砂漠の砂、さそりの入った小物などを来場者に手にとってもらい、説明しました。地中海料理の話もありました。ガーナのムサハムザさんの飛び入り参加で、会場はにぎやかになりました。



Q&Aの時間は会場をイベントホールに移し、来場者との和やかな交流は続きました。過去のゲストも加わり、記念になる写真も撮れました。